

【1】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

A 書物はいつの世にもゆっくりと読むべきものだと私は思う。こんなにも本がたくさん出ているのに、と言うかもしれない。しかし、同じようにレコードだってたくさん出ている。展覧会も至る所で開かれている。だからといって、音楽を能率的に聴き、絵画を急いで見る人はいまい。それなのに、こと本に関する限り速読を目指すのはどういうわけなのだろう。おそらく、書物というものが鑑賞するというより知識の伝達の媒体と思われているせいであろう。確かに本とレコードでは違う。本のほうがはるかに多目的である。鑑賞するというよりは、情報を得たいために読まれる本のほうがずっと多いだろう。そんなことは十分承知の上で、なおかつ、私は速読を勧める。

B 速く読むということは一見能率的のように思えるが、結局は損をすることになる。私も必要に迫られて急いで読まざるを得ないことがある。ところが、急いで読んだ本に限って、あとに何も残っていない。そこで、もう一度読み直さなければならぬことになる。そして、改めてゆっくり読み直してみると、最初に読み飛ばしたそんな読書が何の意味も持っていないどころか、全く読み違えていたことに驚くのである。

⑨こうなると、速読するよりは読まないほうがましである。なぜなら、誤解は無知よりも有害だからである。

C そんなことを言っても、必要に迫られて読まなければならない場合が多いではないか、と言うかもしれない。しかし、必要に迫られたらなおのことゆっくり読むべきである。必要に迫られる以上、あくまで a は許されないからだ。たとえ明日までにどうしてもこの一冊を読み上げねばならないという必要に迫られた場合でも、ゆっくりと読み、読めるところまで読んで本を閉じたい。そのほうが、いい加減に斜め読みをするよりは、はるかに得るところが大きい。

D 速読を勧めるもう一つの理由は、いくら速く読んでみたところでたかが知れているということである。どんなに速読の技術を身に付けたところで、二倍のスピードで読めるものではない。仮に二倍の速度で読めたとしても、そうした速読から読み取ることができるのは、ゆっくり読んだときの二分の一に過ぎない。つまり、半分しか読み取らないのだから二倍の速さで読めるわけだ。しかも、その半分が前に述べたように誤読に陥りやすいとすれば、速読というもののがいかに無意味であるかに気付くであろう。実際、本というものはそんなにたくさん読めるものではない。わずかな本しか読めないからこそ、何を読むかその選択が大切になる。つまり、ゆっくり読むことは、それだけ良書を選ばせる効果を持つのである。

E わずかな本しか読めなかったなら、それだけ視野は狭くなり、とても現代に追い付いていけないと言うかもしれない。確かにそういった不安が現代人を速読へと駆り立てている。だが、⑩そんなことは決してない。十冊読む人よりも五冊読む人のほうが視野が広く、立派な見識を身に付けているというようなことはざらにあるのだ。読書の価値は何冊読んだかで決まるのではなく、どんな本をどのように読んだかで決まるのである。

F 私は、読書とは「葦の髄から天井をのぞく」ことだと思っている。ふつうこの言葉は、そんなちっぽけな穴から天をのぞいてみても、広大な天のほんのわずかな部分が見えるだけだ、とその視野の狭さを笑ったものと解されている。確かにそういう意味だろう。しかし、実際にのぞいてみると分かるが、葦の髄からでも結構天は仰げるのである。いや、むしろ小さな穴からのぞいたほうが対象がよく見えることも多い。

G とにかく、本はゆっくり読むに限る。ゆっくり読めば一冊の本はどれほど多くを語ってくれるのか。読書とはただそこに書かれていることを理解するという単純な作業ではなく、いかにして、書物により多くのことを語らせるかという技術なのである。それは、優れたインタビュアーが相手からおもしろい話を十分に引き出すことができるようなものだ。性急な読書では本は何も語ってくれはしない。仮にその内容を要領よくつかんだとしても、ただそれだけの話である。それでは本を読んだというより、本をつかんだというに過ぎない。

H 読書とはあくまで著者と読み手との対話なのである。読み手が時間をかけてゆっくりと問いかけなければ、著者は、それこそ⑪通り一遍の答えしかしてくれないのである。

(森本哲郎『速読術』)

問一、傍線部①「こうなると」とあるが、「こう」の指す中心的な内容はどのようなことか、本文中の言葉を用い、二十字以内で説明しなさい。

問二、本文中の空欄 a にあてはまる二字の言葉を、本文中から抜き出し答えなさい。

問三、傍線部②「そんなこと」とはどのようなことか。本文中から該当する部分を四十五字以内で抜き出し、「・・・ということ。」の形で答えなさい。

問四、傍線部③「通り一遍の」の意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、うわべだけの形式的な
- イ、物事の事情に精通した
- ウ、一回かぎりの
- エ、事実をねじ曲げた

問五、形式段落 D と形式段落 E の段落関係の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、D 段落の内容に基づいて、E 段落では速読の限界について具体的に説明している。
- イ、D 段落の内容に基づいて、E 段落ではどのような読書に価値があるかについての見解を提示している。
- ウ、D 段落の内容に基づいて、E 段落では速読がもたらす弊害についてさまざまな角度から検討している。
- エ、D 段落の内容に基づいて、E 段落では現代人に必要な読書技術を身に付けるための新しい方法を紹介している。

問六、この文章で筆者が述べている考えとして最も適当なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア、時代の変化に応じるために、読者は多くの書物から新しい知識を得ることが大切である。
- イ、日ごろから速読の技術を身に付けておかないと、読者は思いがけない誤読をすることがある。
- ウ、書物からより多くのことを引き出すために、読者はじっくり書物を読むことが必要である。
- エ、視野を広げ見識を高めるために、読者は書物の内容を要領よくまとめる心がけが必要である。
- オ、読書の価値は読んだ本の量で決まるものではなく、どんな本をどのように読んだかで決まる。

【2】次の漢字の読みを平仮名で答えなさい。

- ①七夕      ②田舎      ③時雨      ④名残      ⑤小豆

【8】次の傍線部の言葉と対義語になる言葉を（ ）内に漢字で書き入れ、

それぞれの文を完成させなさい。

- ① 革新的な若者と、（ ）な政治家たち。  
 ② 私たちは義務教育を受ける（ ）がある。  
 ③ 地球の温暖化によって、（ ）地帯の氷河が溶け始めている。  
 ④ 原告が有利といわれた裁判だったが、新事実の判明により、一転、（ ）の無実が証明された。  
 ⑤ 僕は危険を冒すのはいやなので、（ ）なルートで行った。

【3】次の傍線部のカタカナの部分の漢字に直しなさい。

- ① プログラムをインサツする。      ② 問題をブンセキする。  
 ③ 売り上げをイジする。      ④ 昔のキオクをたどる。  
 ⑤ 医者が患者をミル。

【4】次の（ ）に漢字一字を補い、四字熟語を完成させなさい。

※（ ）内に入れる漢字一字のみを解答欄に書きなさい。

- ① 一挙（ ）得      ② 天衣無（ ）      ③ 危機一（ ）  
 ④ 因（ ）応報      ⑤ 安心（ ）命

【5】次の慣用的表現と同じような意味を表す熟語を後の解答群から選び、記号で答えなさい。

- ① 顔が広い      ② 春秋に富む  
 ③ 立て板に水      ④ 二枚舌を使う  
 ⑤ 足が棒になる

〈解答群〉

- ア、能弁      イ、有名      ウ、虚偽      エ、決意      オ、疲労  
 カ、接近      キ、突然      ク、有望

【6】次の傍線部の文節は、ほかの文節との関係で、どういう働きをしているか。後の解答群から選び、記号で答えなさい。

- ① さあ、掃除を始めましょう。  
 ② 桜前線が南から日本を縦断する。  
 ③ 西から大きな台風がやってくる。  
 ④ 広げてあるノートに書き入れる。  
 ⑤ むかしから富士山はたくさんの人々に愛されてきた。

〈解答群〉

- ア、主語になっている。      イ、述語になっている。  
 ウ、修飾語になっている。      エ、直前の文節を補助している。  
 オ、ほかの文節からは独立している。

【7】次の古典作品に関する説明文を後の解答群から選び、記号で答えなさい。

- ① 伊勢物語      ② 竹取物語      ③ 大鏡  
 ④ 万葉集      ⑤ 古事記

〈解答群〉

- ア、およそ四五〇〇首収録されている我が国最古の歌集。  
 イ、太安万呂が撰録した我が国最古の歴史書。  
 ウ、藤原道長を中心に描かれているものの道長に批判的である歴史物語。  
 エ、在原業平が主人公として想定されている、歌物語の代表的作品。  
 オ、「物語の祖」とよばれる我が国最古の作り物語。